

課題制作の前に

- ① 課題を制作／提出する前に必ずこの「手引き」を読んでその指示に従って下さい。制作／提出に際しては、この「手引き」に記載されている条件を満たすことが必要です。
- ② 提出物は「制作指示書」と「作品」の2つです。いずれにも必ず受験番号／氏名／選択課題名（ABCの別）を明記して下さい。作品に記入するときは印刷仕上りサイズの外側に明示して下さい。これらの記入がないと不合格になることがあります。
- ③ 「制作指示書」「作品」ともPDFデータをアップロードして提出して下さい。CDやMOなどを提出しても審査の対象にはなりません。また提出されたCDやMOなどは返却しません。
- ④ 「作品」はPDF/X-1aのデータで提出して下さい。

I-1 課題の概要

I-1-1 出題の趣旨

課題制作の「制作指示書」と「作品」は、オペレーション能力やデザインセンスだけでなく、DTP制作を指導、管理するにふさわしい能力を審査するのが目的です。そのような能力には次の3つの側面が考えられます。

- ① **デザイン（設計と指定）、製版／印刷への配慮**
印刷物の紙面を設計し、また紙面の全要素について製版／印刷工程の特性を考慮に入れた的確かつ詳細な設定および指定の指示を行う能力。
 - ② **DTPシステムの理解**
DTPのシステムおよびハードウェアとソフトウェアなどの環境設定をよく理解して、効率のかつ合理的に指示を行う能力。
 - ③ **ワークフローと段取り**
複数の人間、あるいは工程の間を仕事がスムーズに流れる段取りとわかりやすい指示を行う能力。
- 以上を統合した観点から提出物（制作指示書、作品）を採点して合否を判断します。統合的／システム的な作業を前提としているのでコンピュータを使った作業が原則です。「制作指示書」と「作品」の制作上で不明な点や判断に迷う事は、受験者自身で考え第三者が制作する上で困らないよう指示する事が必要です。これもDTPエキスパートとして求められる能力です。

I-1-2 「制作指示書」の制作条件

- ① この「手引き」でいう「制作指示書」とは、受験者が指示を与える立場に立って、「受験者が制作した方法を、第三者が継承して制作するために必要な各種設定や制作手法、制作工程、注意事項などを記したものの」ことです。単なる「作業手順書」のことではありません。
- ② 「制作指示書」の目的は、誰が作業をしても一定レベルの品質を保ち、かつ効率よく制作できるような設計（作業計画や段取り）に基づいた制作工程や詳細設定を正確にわかりやすく伝えることです。した

がって、「制作指示書」は提出した作品のみの制作指示ではなく、改訂版として第三者が、他のページを制作する際に必要な指示を記述する必要があります。

- ③ 「制作指示書」の内容は以下の項目を「目次」として表紙に記述し、下記数字の順番で「制作指示書」の内容を作成して下さい。さらに受験番号、氏名、課題の種別も記述してください。
- 1 制作上の留意点（制作意図、標準化と効率化の工夫、原稿量の増減に対応するレイアウトの維持など）
- 2 受注内容（受注先、制作物、仕様、納品形態など）
- 3 制作環境（ハードウェア、ソフトウェア、環境設定、ファイルの授受など）
- 4 制作手順（スケジュール、全体のワークフローと画像処理のワークフロー、分業など）
- 5 標準化と効率化（再利用可能なテンプレートなど）
- 6 紙面設計（シリーズ物としてのレイアウトを継承しテキストの増減に対応した設計図、統一事項、自由裁量など）
- 7 パーツの詳細指定（第三者が他のページを作成するために必要なパーツの指定など）

注）・制作手順の画像処理のワークフローには、倍率変更、解像度変更、プロファイル管理、USM等を指示して下さい。この記述が無ければ不合格なる場合があります。

・紙面設計において設計図がない場合は不合格になります。設計図はシリーズを通して具体的に配置できる再現性が求められます。

I-2 採点基準

「制作指示書」は、

- ① **設計**：制作上の留意点、制作環境、制作手順、紙面設計、標準化と効率化など。
- ② **要素**：受注内容、パーツの詳細指定など。
- ③ **表現**：制作指示書の構成、可読性／正確さ、指定用語の使い方など。

「作品」は、

- ① **レイアウト**：配置、バランス、製版／印刷適性など
 - ② **文字／組版**：書体（サイズや種類）、組版、表組、文字校正、文書構造の表現など。
 - ③ **画像／色**：写真や図版の処理、彩色、配色など。
- 上記項目が採点の基準となりますので、この項目が訴求できるような表現・表記をすることが求められる作品の基準になります。

- ・「制作指示書」や「作品」は、制作及び提出条件の内容に合致していることが採点基準の前提となります。
- ・他の受験者（過去の受験者も含む）の提出物の不正複製と判断した場合は、複製者だけでなくオリジナル制作者もともにすべて無条件で不合格となります。画像や組版などパーツを流用してほとんど手を加えていない場合や、基本レイアウトの流用とみなされる場合も不正複製と判断します。
- ・過去の受験時に提出したものと同一制作物を提出す

ることはできません。過去データの一部（「制作指示書」「作品」とともに）を使用している場合も不合格になります。課題は、必ず39期の「手引き」と「課題データ」（ダウンロードデータ）を使って制作します。これらを使用していない場合は、条件違反で不合格になります。

- ・「制作指示書」と「作品」の整合性がとれない場合は減点あるいは不合格の対象となります。
- ・仕上がった作品のキャプチャ（画面コピーや作品そのもの）を設計図やレイアウト指定に使用してはいけません。本来の設計及び指定の順序と異なるため設計がされていないとみなし不合格になります。
- ・デザイン技能を採点する試験ではありませんが、一般的なマニュアルとして不適切なデザインや手法は減点あるいは不合格の対象となります。
- ・課題の採点は筆記試験の採点とは関係なく行い、課題が不合格の場合は筆記試験の結果にかかわらず不合格となります。また、課題の提出がなければ不合格です。
- ・「作品」はPDF/X-1aの形式に適合していなければ、減点あるいは不合格の対象となります。

I-3 提出要項

I-3-1 提出の条件

- ①「制作指示書」と「作品」の2つを同時に提出して下さい。
- ②「制作指示書」と「作品」のそれぞれに**受験番号・氏名・課題名（ABCの別）を明記**して下さい。
- ③**締め切り日厳守**。「I-3-3 締め切りと提出先」を参照。

注）すべての提出物は合否にかかわらず返却しません。

I-3-2 提出物

- (1)「制作指示書」
 - ① **A4 縦のサイズでPDF**で提出して下さい。
 - ②「制作指示書」の本文は、**A4 サイズで5ページ～10ページ程度**を目安にして下さい。
- (2)「作品」
 - ① **仕上がりサイズにトンボを付けてPDF/X-1aのデータ**で提出して下さい。
 - ② 作品の仕様は各課題の条件や想定によって異なりますが、受験者自身が作ったものであること、入稿データとして必要な要素が含まれていることが条件です。
- (3)「その他」
 - ① いったん提出した「制作指示書」／「作品」の差し換えや追加などは認められません。よく確認してから提出して下さい。

I-3-3 締め切りと提出先

- (1) **締め切り：2013年4月15日（月）**
13：00（サーバのクローズ時間）
- (2) **アップロード提出先：**
<https://www.jagatexp.info/dtp/>

注）最終日は混み合いますので早めにアップロードして下さい。
課題制作に関するお問合せについて

課題材料がダウンロード不能の場合、およびデータファイルの不良を除き、課題制作に関するお問い合わせには応じられませんのでご了承ください。

I-3-4 提出方法

- ① 詳細についてはJAGAT DTP エキスパートのWebサイトで確認して下さい。
<http://www.jagat.jp/dtp>

II-1 データの概要

II-1-1 データの確認

- ① 写真／図版のデータはいずれもラフなものです。制作環境や制作上の留意点、クライアントからの制作条件に合わせて、適宜、修整／変更を加えて下さい。ファイルフォーマット、解像度、拡大／縮小、トリミングなどに制限はありません。ただし、常識に反する変形や設定は減点の対象です。
- ② 元のデータはMacで作成しています。Mac以外での制作環境でのデータの変換や調整は、受験者自身で行って下さい。

II-2 課題データの内容

II-2-1 課題A「ページ物」

ファイル名 フォーマット キャプションまたは内容

a_text.doc	doc	Word 2008 for Mac
adapter.jpg	jpeg	microSD メモリカードアダプタ……
mark.ai	ai	禁止／参考／注意マーク
microSD_in.ai	ai	microSD メモリカードの取り付け方
microSD_out.ai	ai	microSD メモリカードの取り外し方
microSD.jpg	jpeg	microSD カード
photo_1.jpg	jpeg	画面合成用写真
quality.ai	ai	画像サイズと画質

II-3 課題A「ページ物」

II-3-1 課題Aの想定

以下は課題Aの制作の前提となる想定です。「制作指示書」と「作品」はこれに基づいて制作して下さい。

- ① 携帯電話メーカーの株式会社アクセスフォンから、新商品の携帯電話マニュアルの制作を依頼された。
- ② マニュアルは基本操作編とアプリケーション編の2冊があり、1冊 250 ページ程度になる。また、同程度のボリュームの他の携帯電話のマニュアルの仕事が入稿予定である。
- ③ 約半年ごとの改訂により修正や流用が発生し、そのつど文章や写真／図版が修正変更されページも増減するので、迅速正確に対応できる紙面設計と制作ワークフローの構築が必要である。
- ④ 印刷は、オフセット印刷でスクリーン線数 175 線(画像解像度 350dpi)を予定している。
- ⑤ クライアントへの確認用と印刷用データは**フォーマットを PDF/X-1a 形式としマニュアル印刷物 10,000 部の納期を受注の1ヶ月半後とする。**
- ⑥ その他クライアントからの条件 (II-3-5) に従うこと。

II-3-2 課題Aの提出物

課題Aの提出物は、「制作指示書」と「作品」の2つです。これらは以下の条件を満たしていなければなりません。

II-3-3 課題Aの「制作指示書」の提出条件
「制作指示書」は (I-1-2 「制作指示書」の制作条件) とあわせて、以下の条件に従って下さい。

- ① 「制作指示書」は **A4 縦のサイズ**で PDF で提出して下さい。
 - ② レイアウトの基本フォーマットを明示し、その考え方と次回以降第三者が他のページを制作する手順を記述して下さい。
 - ・実際の制作ページとは別に、レイアウトの基本となるフォーマットを作成して下さい。
 - ・フォーマットそのものと合わせて、**制作上の留意点に、1. どのような考えに基づいてそのフォーマットを作ったのか、その考え方とフォーマットの制作手順について、2. 標準化と効率化を考慮した段取りや作業計画、3. 原稿量の増減にどのように対応するか**の3点について箇条書きで記述して下さい。
 - ・フォーマットの目的は基本的には版面の設計と組版指定ですが、課題Aはとくに多ページであること、内容の増減や改訂が頻繁に起こることなどが重要な条件になります。これらを考慮して、効率的に運用できるフォーマットを作成して下さい。
- 注) フォーマットは「制作指示書」に含めてもよいし、別にまとめても構いません。「制作指示書」に含める場合は、フォーマットはおもに「紙面設計」に該当しますが、書き方などに制限はありません。

II-3-4 課題Aの「作品」の提出条件

- ① 「作品」は**見開きサイズにトンボを付けて(製版サイズ、裁ち落とし 3mm) PDF/X-1a の形式に適合するデータ**で提出して下さい。(印刷の仕上がりサイズは A5 判 148mm × 210mm です)。
- ② 提出物には入稿データとして必要な要素が含まれていなければなりません。

II-3-5 課題Aの「作品」の制作条件

以下は携帯電話のマニュアル制作にあたってクライアントから出された制作条件(注文)です。これ以外の仕様は作成者(受験者)の提案となります。

- ① 色は2色として下さい。
- ② 仕上がりサイズは **A5 判縦長**をお願いします。
- ③ 製本は無線綴じをお願いします。
- ④ 両小口に「章」のインデックスをつけて下さい。
- ⑤ 各章の始めには「扉」を設けて下さい。
- ⑥ 「節」のタイトルを片柱で地に入れて下さい。
- ⑦ 文章は章、節、項、および本文、注意文などがあるので、階層構造が明確になるように見出し(大、中、小)やレイアウトを工夫して下さい。
- ⑧ 「禁止／参考／注意」は本文と区別して「mark.ai」のファイル内の図と組み合わせて組んで下さい。
- ⑨ すべての写真／図版／表には章と節と項の番号とキャプション(ネーム)をつけて下さい。
- ⑩ 写真／図版／表の大きさや配置などは、それぞれなるべく統一して下さい。
- ⑪ 写真／図版は適宜加工して下さい。また写真のファイルはデジタルカメラによる写真ですが印刷に必要な処理もお願いします。写真によってはホコリがある場合があります。このホコリは取って下さい。また水平垂直と歪みも直して下さい。
- ⑫ 「microSD メモリカードの取り付け方」と「同取り外し方」の図(microSD_in.ai/microSD_out.ai)には文章に対応する黒丸数字と動作を表す矢印を入れて下さい。
- ⑬ 「microSD メモリカードアダプタのロック機能」の写真(adapter.jpg)には「ツメ」が移動できることを示す矢印を入れて下さい。
- ⑭ 「画像サイズと画質」の図(quality.ai)には photo_1.jpg の写真を画面のアタリ内に合成して下さい。
- ⑮ 「microSD メモリカードアダプタへの接続」の図は microSD メモリカードの写真(microSD.jpg)と microSD メモリカードアダプタの写真(adapter.jpg)を使い差し込む前と差し込んだ後の説明図を作成して下さい。
- ⑯ 表は罫線で囲んでわかりやすくして下さい。
- ⑰ 写真／図版／表とそれに対応する説明文は、なるべく同一ページあるいは見開きに収まるようレイアウト設計を考えて下さい。

II-4 課題Aのデータ

II-4-1 課題Aの配布データについて

ダウンロードしたデータは想定するページ物の全データではありません。

以下は配布データを使って実際に提出課題を制作するときの条件と注意事項です。

- ① 配布データは、このページ物の101ページからの想定です。テキストデータの「第4章 メモリカードの使用」の冒頭を101ページに設定して下さい。
- ② 配布データは数ページ分ですが、制作は一冊すべて処理することを前提にして下さい。その際必要な項目（他の章のタイトルなど）は適宜補って下さい。

③ 配布する写真／図版はラフなものにすぎません。適宜修整／変更を加えて下さい。

④ 配布するテキストデータはベタのテキストです。組版に必要な処理は必ず行って下さい。これは採点の対象となります。

注) 参考までに全体の目次（例）を掲げます。網の部分が制作部分です。

アプリケーション編	1
はじめに	4
各部の名称	11
第1章 カメラ機能を使う	17
1-1 静止画の撮影	18
1-2 動画の撮影	35
1-3 画像サイズと画質の設定	48
1-4 撮影時の設定	56
第2章 写真の加工と修正	71
2-1 フレームの挿入	72
2-2 文字の挿入	73
2-3 画質の調整	76
2-4 データサイズの変更	81
第3章 イメージビューアで再生	85
3-1 静止画／動画を表示する	86
3-2 静止画／動画を利用する	90
3-3 静止画／動画を編集する	94
3-4 静止画／動画をメールに添付する	96
第4章 メモリカードの使用	101
4-1 microSD メモリカードの取り付け方／取り外し方	102
4-2 microSD メモリカードを使う	00
4-3 microSD メモリカードのフォーマット	00
4-4 画像の記録サイズ	00
第5章 パソコンでメモリを使う	00
5-1 microSD メモリカードアダプタ	00
5-2 microSD メモリカードをパソコンで表示	00
5-3 コンピュータで microSD メモリカードをフォーマット	00
5-4 コンピュータの画像をコピーする	00
第6章 録音機能を使う	00
第7章 メール機能を使う	00
第8章 インターネット機能を使う	00
第9章 トラブルシューティング	00
第10章 仕様	00
第11章 付録	00
索引	00

II-4-2 課題Aのテキスト

注)該部分の前後のテキストはありません。

配布されたテキストデータに、以下の手書きの指示の修正を反映させて組んで下さい。ただし、< >内はテキストの内容を示したもので、レイアウト時には削除して下さい。

第4章 メモリカードの使用

microSD メモリカードとは、小型・軽量で大きな容量をもつ着脱可能な外部メモリカードです。標準のアダプタを使用すれば、パソコンとデータの交換ができます。

4-1 microSD メモリカードの取り付け方／取り外し方

microSD メモリカード内のデータを保護するために、必ず電話器本体の電源を切った状態で行って下さい。本体付属の microSD メモリカードは 1GB (メガバイト) ですが、市販の 64GB まで対応しています。

禁止<ピクトグラム>

電源が入っている状態で microSD メモリカードを着脱するとデータが壊れたり、microSD メモリカードや本体が壊れることがあります。

1 取り付け方

- ① 本体の microSD メモリカード差し込み口のカバーを開ける。
- ② microSD メモリカードの表面を上にして、カチと音がするまで押し込む。
- ③ 本体の microSD メモリカード差し込み口のカバーを閉じる。 下線

<図>

<キャプション> microSD メモリカードの取り付け方

2 取り外し方

- ① 本体の microSD メモリカード差し込み口のカバーを開ける。
- ② 本体に差し込まれている microSD メモリカードを、一旦奥までカチと音がするまで押し込み、microSD メモリカードを抜き取る。 下線
- ③ 本体の microSD メモリカード差し込み口のカバーを閉じる。 指 差

<図>

<キャプション> microSD メモリカードの取り外し方

4-2 microSD メモリカードを使う

写真画像や動画の保存の他に、電話器本体の電話帳／スケジュール／送信メール／~~受信メール~~／Bookmark／音声メモなどの大切な情報を microSD メモリカードにバックアップすることができます。 トルツメ

電話器本体から microSD メモリカード内にデータをコピーしたり、microSD メモリカード内のデータを電話器本体にコピーすることができます。

1 microSD メモリカードに保存できる内容

- | | | |
|---|---------------------|-----------------------|
| ① | 電話帳…………microSD | メモリカード内の電話帳を表示します。 |
| ② | スケジュール…………microSD | メモリカード内のスケジュールを表示します。 |
| ③ | 送信メール…………microSD | メモリカード内の送信メールを表示します。 |
| ④ | 受信メール…………microSD | メモリカード内の受信メールを表示します。 |
| ⑤ | Bookmark…………microSD | メモリカード内のブックマークを表示します。 |
| ⑥ | 音声メモ…………microSD | メモリカード内の音声メモを再生します。 |
| ⑦ | 画像イメージ…………microSD | メモリカード内の写真イメージを表示します。 |
| ⑧ | 動画イメージ…………microSD | メモリカード内の動画イメージを表示します。 |

参考<ピクトグラム>

表示方法の操作については操作編 P103「microSD メモリカード内のデータを表示する」を参考にして下さい。

2 エクスポート

電話器本体のデータを microSD メモリカードにコピーします。コピー元のデータを、1 件または全件指定することで microSD メモリカードにエクスポートされます。シークレットモードに登録されたデータは、シークレットを解除するまで、コピーされません。

3 インポート

microSD メモリカード内のデータを電話器本体にコピーします。

コピー元のデータを、1 件または全件指定することで電話器本体にインポートされます。

参考<ピクトグラム>

エクスポート／インポートの操作については、操作編 P113「microSD エクスポート／インポート」を参考にして下さい。

4-3 microSD メモリカードのフォーマット

初めて microSD メモリカードを使う場合には、フォーマットを行う必要があります。フォーマットは必ず電話器本体に microSD メモリカードを挿入して、本体のフォーマット機能を用いて行~~う~~て下さい。

注意<ピクトグラム>

microSD メモリカードのフォーマットを行うと、メモリカード内のデータが全て消去されます。消去されたデータは復活できなくなりますので、注意して下さい。

参考<ピクトグラム>

フォーマットの方法は、操作編 P144 の「microSD メモリカードをフォーマットする」を参考にして下さい。

1 フォーマット

microSD メモリカードの容量によってフォーマット時間は異なります。フォーマット終了後待ち受け画面に戻ったらフォーマット完了です。

参考<ピクトグラム>

microSD メモリカードの容量を確認する方法は、操作編 P145 の「microSD メモリカードの容量を表示する」を参考にしてください。

2 ロック機能

パソコンなどで使用する場合、誤って microSD メモリカードをフォーマットしないように microSD メモリカードのアダプタにロックする機能があります。

注意<ピクトグラム>

microSD メモリカード自体にはロック機能がありません。フォーマットは十分注意して行って下さい。

<写真>

<キャプション> microSD メモリカードアダプタのロック機能

4-4 画像の記録サイズ

カメラ機能を使用した場合の画像の記録サイズと画質は「撮影モード」を切り替えることで変更できます。画像の記録枚数は microSD メモリカードの容量によって異なります。

1 画像サイズ

画像は自動的に圧縮されますが、画像の容量は画質によって異なります。

<キャプション> 記録モードとピクセル数

<表組>

記録モード	ピクセル数	容量*	保存形式
SXGA	1280 × 960 ドット	約 350KB	jpeg
VGA	640 × 480 ドット	約 90KB	jpeg
CIF	352 × 288 ドット	約 30KB	jpeg
QCIF	176 × 144 ドット	約 8 KB	jpeg
壁紙	240 × 266 ドット	約 20KB	jpeg

<表外注記> * 容量は撮影画質「ファイン」の場合

2 撮影画質

撮影画質は「スーパーファイン（最高画質）」、「ファイン（高画質）」、「ノーマル（標準画質）」、「ベジック（低画質）」の 4 種類から選択します。画質は圧縮率が変更され、高画質になるほど撮影枚数が少なくなります。

参考<ピクトグラム>

「撮影モード」の変更方法は、操作編 P100 を参考にして下さい。

3 画像サイズと画質の確認

画像サイズはカメラ機能を使用した場合ピクセル数で表示されます。

<図>

<キャプション> 画面サイズと画質

第 5 章 パソコンでメモリを使う

microsd メモリカードは電話器本体の他に、パソコンやプリンタなど SD メモリーカード対応の機器で利用することができます。

5-1 microSD メモリカードアダプタ

SD メモリカード対応のパソコンや pda で使用する場合には、microSD メモリカードを microSD メモリカードアダプタに接続すると使用できます。静止画像のプリントアウトや動画の再生、またデータのバックアップなどができます。

1SD メモリカード対応機器で使用するには

microSD メモリカードアダプタを使用すれば、microSD メモリカードを SD メモリカード対応の機器で御利用になれます。

2 書き込み禁止

microSD メモリカードの書き込みスイッチが「LOCK」されているとプロテクトライトがかり、microSD メモリカードへの書き込みやフォーマットができなくなります。大切なデータを誤って消さないように保護したい場合などに使用します。

<図>

<キャプション> microSD メモリカードアダプタへの接続

注意<ピクトグラム>

パソコン側で microSD メモリカードをフォーマットすると電話器本体で使用できなくなります。その場合はもう一度電話器本体で microSD メモリカードをフォーマットして下さい。

II-4-3 課題Aの写真／図版

クライアントからの条件（注文）や制作上の留意点により、写真／図版データを加工して下さい。ただし、常識に反する設定や変形は減点の対象になります。レイアウトするときはすべての写真／図版に番号とキャプションをつけて下さい。ファイル名は削除して下さい。

(1) 写真

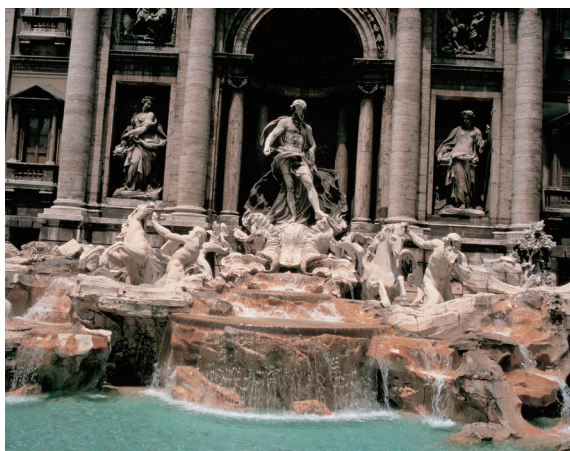
適宜拡大／縮小，歪みの補正，レタッチなどを行うこと。また adapter.jpg の写真にはII-3-5 課題Aの「作品」の制作条件⑬の指示に従い，矢印を入れること。



microSD.jpg



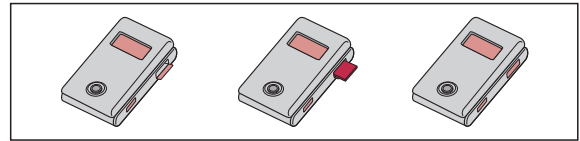
adapter.jpg：microSD メモリカードアダプタのロック機能



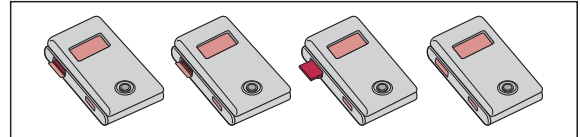
photo_1.jpg：画面合成用写真

(2) 図版

拡大／縮小したときは図中の文字サイズや線の太さなどにも配慮すること。



microSD_in.eps：microSD メモリカードの取り付け方



microSD_out.eps：microSD メモリカードの取り外し方

(3) ピクトグラム

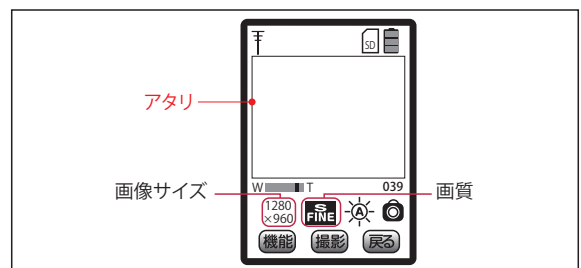
禁止／参考／注意の文字と組み合わせて使用するマーク。



mark.eps

(4) 合成用図版

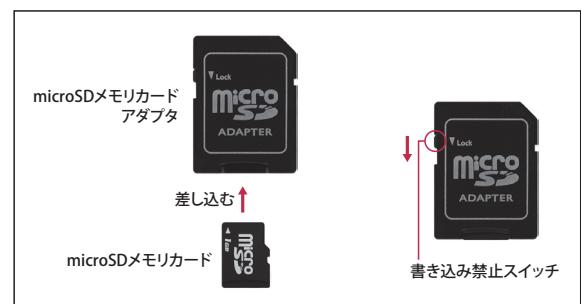
photo_1.jpg の写真をアタリ内に合成する。



quality.eps：画面サイズと画質

(5) 参考

以下のデータはありません。II-3-5 課題Aの「作品」の制作条件⑬の指示に従い，受験者自身で作成する。



microSD メモリカードアダプタへの接続